



地球の未来は大丈夫？

～今、私たちにできること～ SDGsで学ぶ 地球環境



SDGsとは？

人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標のことです。
Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標

5つの「P」で考えるSDGs

SDGsには17の目標がありますが、それをさらに5つのキーワードで考えると、よりイメージがしやすくなります。参照: <https://www.unicef.or.jp/sdgs/concept.html>



- 1 人間[People]**
貧しさを解決し、健康でお互いを大切にしよう
アイコン: 1, 2, 3, 4, 5, 6
- 2 豊かさ[Prosperity]**
経済的に豊かで、安心して暮らせる世界にしよう
アイコン: 7, 8, 9, 10, 11
- 3 地球[Planet]**
自然と共存して、地球の環境を守る
アイコン: 12, 13, 14, 15
- 4 平和[Peace]**
争いのない平和を知ることから実現しよう
アイコン: 16
- 5 パートナーシップ[Partnership]**
いろいろな形で、みんなが協力し合う大切さ
アイコン: 17

今、プラスチック問題が深刻

プラスチックはごみとして捨てられると、自然に分解されることがほとんどありません。捨てられたプラスチックごみが最終的に行き着くのが海です。プラスチックは海の中で砕けて、小さな破片となり、それを魚や海鳥たちがエサと間違えて食べてしまい、お腹からたくさんのプラスチックごみが出てきたという問題が起きています。



二酸化炭素

海洋酸性度は産業革命以前との比較で

26%上昇 2100年までに100%～150%上昇する見込み

海が以前より多くの二酸化炭素を水中に取り込むことで、海水の成分が酸性化する「海洋酸性化」が進んでいます。海の生態系に大きな影響を及ぼします。

出典: 国連ホームページ「United Nations SDGs Knowledge Platform-Goal14」
国連ホームページ「SDGs Report 2019-Goal14」



気候変動の原因である温室効果ガスの

90%以上は二酸化炭素

プラスチックのほとんどは石油由来で、その生成にはCO2を排出します。



プラスチック

わたしたちが使っているプラスチックは

50%が使い捨てされている

プラスチックは軽くて衛生的なので容器・包装材として大量に使われています。プラスチックボトルは1分間で100万本も売られています。

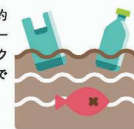
出典: UNEPホームページ「Our planet is drowning in plastic pollution」, 環境広報「プラゴミの量がききやうのためにわたしたちにできること」



世界中の海にはすでに

1億5,000万のプラスチックごみがあるとされている

世界中の海には、毎年約800万トン、東京スカイツリー222基分のプラスチックごみが新たに流れ込こんでいるといわれています。



マイボトルとプラスチックボトルのCO2排出量を比べてみよう

ステンレス製マイボトル

CO2排出量
(100回使用の1回あたり)
約**13.9**g-CO2

プラスチックボトル

CO2排出量
(1回あたり)
約**119**g-CO2

マイボトルの約**8.6倍**

出典: 環境省「リユース可能な飲料容器およびマイカップ・マイボトルの使用に係る環境負荷分析について」



マイボトルを持ち歩いて給水することでプラスチック削減とCO2の削減につながるよ！
地球のみんなが豊かで幸せに暮らす未来のためにできることから始めよう！